Ⅴ　観光経済波及効果推計

22年9月6日　観光入込客数確定値による改定版

注）今年度調査では『平成27年度北海道産業連関表』（北海道開発局）64部門表を用いている。
前回（令和2年度）調査では「平成23年度北海道産業連関表／13部門表」を使用しているため、この２つの変更による影響があるため、過年度との推移については留意されたい。

1 与件の整理

（１）観光消費額

①単純集計による道内消費額（パッケージ料金除く）

- パッケージ代金を除く道内客・道外客の道内消費額は下表のようになる。道内客のうち、日帰り客の観光消費単価は6,079円、宿泊客は27,776円、道外客の道内消費額は日帰り客が16,044円、宿泊客は69,778円である。
- 観光消費の内訳は①交通費・②宿泊費・③飲食費・④買い物費・⑤娯楽等サービス費、⑥その他の費用に区分して把握している。

■分野別の道内平均支出額（単純集計）　※各分野支出額と合計額欄が一致するサンプルのみ使用

（人、円、%）		道内客		道外客		外国人客
		日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	
サンプル数		999	762	18	2,014	－
合計		6,079.3	27,775.6	16,043.9	69,777.5	－
内訳（円）	①交通費	2,293	7,025	6,516	17,153	－
	②宿泊費	0	10,357	0	20,644	－
	③飲食費	1,731	5,866	3,472	17,199	－
	④買物代	1,777	3,485	5,611	11,004	－
	⑤娯楽等サービス費	269	1,033	444	3,333	－
	⑥その他	10	9	0	445	－
構成比（%）	①交通費	37.7	25.3	40.6	24.6	－
	②宿泊費	0.0	37.3	0.0	29.6	－
	③飲食費	28.5	21.1	21.6	24.6	－
	④買物代	29.2	12.5	35.0	15.8	－
	⑤娯楽等サービス費	4.4	3.7	2.8	4.8	－
	⑥その他	0.2	0.0	0.0	0.6	－

注：「①～⑥の各分野支出の回答の計」と「合計欄の回答」が一致したものだけを集計した結果である。この集計数は道内客は総サンプル数1,888件のうち1,761件（93.3%）、道外客は2,152件のうち2,032件（94.4%）である。

②パッケージ料金に含まれる道内消費分等を含む消費額／投入単価

観光客が道内で消費する金額は、上記①に加えてパッケージ旅行者の場合は、パッケージ料金に含まれる飲食や宿泊費、交通費などの道内留保分を加わることになる。次頁表は、これらを加味した場合の消費額である。

- パッケージ料金に含まれる道内消費分を考慮した道内客・道外客の道内消費額は次頁表のようになる。
- 道内客のうち、日帰り客の観光消費単価は6,085円で、昨年（6,012円）より僅かに増加している。道内の宿泊客は27,826円で、昨年（26,985円）より3%ほど増加した。
- 道外客は日帰り客がパッケージ利用者がいないため、①と同額の16,044円である。宿泊客は昨年（67,733円）より大幅に増加し81,574円となっている。

※昨年は道外日帰り客のサンプル数が極少であったため、全て宿泊客の消費単価で処理

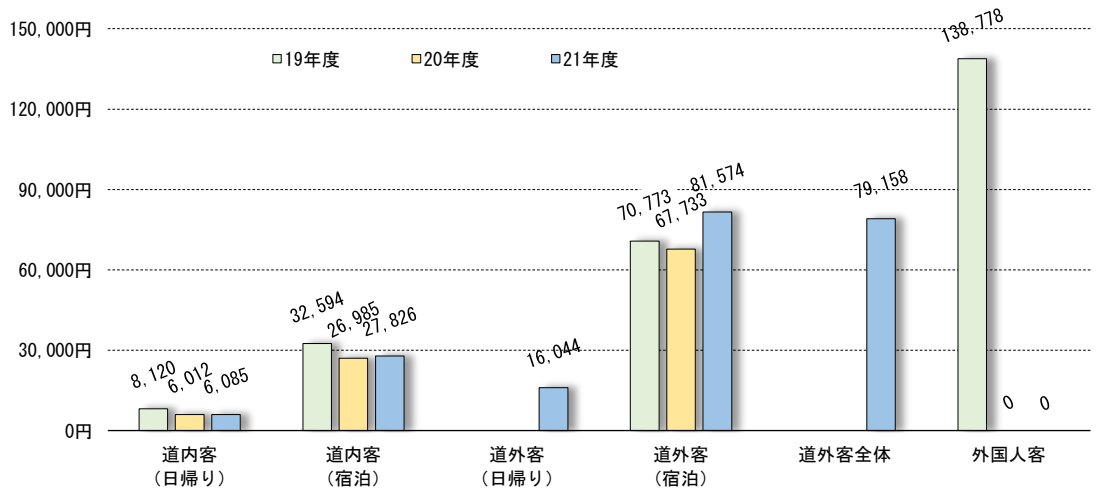
- 観光消費の内訳では、道内客では日帰り、宿泊客とも「交通費」・「飲食費」が増加したが、日帰り客では「買い物」・「娯楽等のサービス」で減少した。また、宿泊客では「宿泊費」が7%ほど減少し、「娯楽等のサービス」支出額も減少した。
- 道外客では「娯楽等のサービス」が減少したものの、「交通費」では39%増（レンタカー、自家用車での来道が増えたことが影響）、「宿泊費」・「飲食費」でも18%増となった。但し、「買い物」は昨年とほぼ同額となった。

■パッケージ料金に含まれる道内消費分等を考慮した消費額／投入単価

		道内客		道外客全体			外国人客
		日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	（道外客全体）	
サンプル数		999	762	18	2,014	2,032	－
消費額合計（円）		6,085	27,826	16,044	81,574	79,158	－
内訳（円）	①交通費	2,295	7,045	6,516	20,882	20,346	－
	②宿泊費	0	10,380	0	26,658	25,663	－
	③飲食費	1,732	5,870	3,472	18,724	18,155	－
	④買物代	1,777	3,485	5,611	10,884	10,688	－
	⑤娯楽等サービス費	269	1,035	444	3,646	3,527	－
	⑥その他	11	11	0	780	780	－
昨年度（円）	消費額合計（円）	6,012	26,985		67,733		－
	①交通費	1,880	6,135	－	14,646		－
	②宿泊費	0	11,185	－	21,946		－
	③飲食費	1,697	5,038	－	15,511		－
	④買物代	1,924	3,303	－	10,746		－
	⑤娯楽等サービス費	442	1,218	－	4,418		－
	⑥その他	69	107	－	466		－
増減率	消費額合計（円）	1.2%	3.1%		16.9%		
	①交通費	22.1%	14.8%	－	38.9%		－
	②宿泊費	－	▲7.2%	－	16.9%		－
	③飲食費	2.1%	16.5%	－	17.0%		－
	④買物代	▲7.7%	5.5%	－	▲0.5%		－
	⑤娯楽等サービス費	▲39.0%	▲15.0%	－	▲20.2%		
	⑥その他	▲84.2%	▲89.5%	－	67.4%		－

注1：端数処理等で分野計と合計欄が一致しない場合がある
注2：昨年度、今年度も「波及効果推計」に用いる最終投入単価の数値である

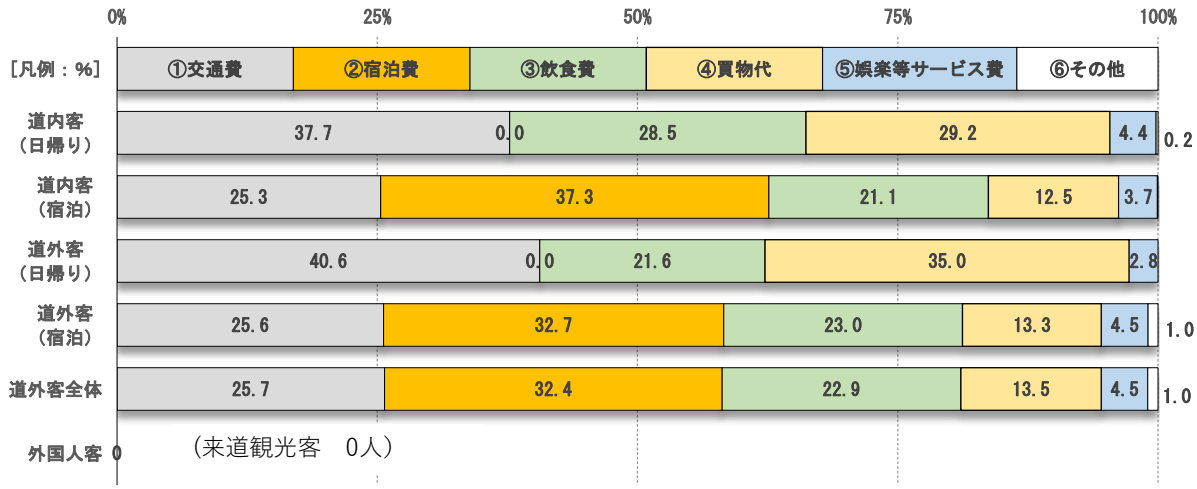
■パッケージ料金に含まれる道内消費分等を考慮した消費総額の推移



（次頁図参照）

- 道内客・道外客の各調査で得られた消費額の分野別支出構成比は次頁上図のようになる。
- 道内日帰り客では「交通費」と「買い物代」が1/3ずつで、3割弱が「飲食費」である。
- 道内宿泊客は4割が「宿泊費」に充てられ、「交通費」、「飲食費」の順である。「買い物費」の割合は、日帰り客の半分程度に留まる。
- 来道者（道外客）は1/3が「宿泊費」に充てられ、「飲食費」と「交通費」が1/4ずつを占める。

■パッケージ料金に含まれる道内消費分を考慮した分野別消費額の構成比



【参考】

対象とした観光客は、居住地・旅行形態、さらに消費方法もパッケージツアー内消費・パッケージ以外の消費などの組合せによって構成されている。また、パッケージ費用の分野別構成は把握困難であり、過年度調査を参考に区分推計している。経済波及効果の推計に用いる消費額は、こうした考え方に基づくものであり、道外に帰属する消費、道外消費であるが道内に一部帰属する消費などを勘案しているため、自ずと「アンケートで回答される消費額」とは異なっていることに留意下さい。

■観光消費額設定の考え方

利用者区分	旅行形態 / 費用区分		旅行会社手数料	交通費 海外分	交通費 道外分	交通費 道内分	宿泊費	食事費	買い物費	その他	旅行費用算出	[ー]は見込まない支出項目 / パッケージツアーの処理
道内客	日帰り客	パッケージ利用者 パッケージ内	○	ー	ー	○	ー	○	ー	○	3区分ごとに費用を算出し、各旅行者数に応じて加重平均値を求めている。	旅行会社手数料は道内旅行であるため全額組み込んでいる。
		パッケージ利用者 パッケージ外	ー	ー	ー	○		○	○	○		
		パッケージ非利用者	ー	ー	ー	○	ー	○	○	○		
	宿泊客	パッケージ利用者 パッケージ内	○	ー	ー	○	○	○	ー	○	3区分ごとに費用を算出し、各旅行者数に応じて加重平均値を求めている。	
		パッケージ利用者 パッケージ外	ー	ー	ー	○		○	○	○		
		パッケージ非利用者	ー	ー	ー	○	○	○	○	○		
	その他の旅行		ー	ー	ー	○	○	○	○	○	「その他」の旅行（道外、海外）に伴う道内支出は、本調査では把握していないため、第6回調査（14,695円）時より概ね8%増と総額設定し、それを（第5回調査参考）分野別に配分。	
道外客		パッケージ利用者 パッケージ内	(○)	(○)	○	○	○	○	ー	○	3区分ごとに費用を算出し、各旅行者数に応じて加重平均値を求めている。	旅行会社手数料は発地に属するが一部を道内LO等に回るものとして計上。交通費のうち航空機関連の一部を道内帰属分として計上。宿泊費は計算の便宜上ツアー費内・外に分離されている。
		パッケージ利用者 パッケージ外	ー	ー	ー	○		○	○	○		
		パッケージ非利用者	ー	ー	ー	○	○	○	○	○		
外国人客		パッケージ利用者 パッケージ内	(○)	(○)	○	○	○	○	ー	○	3区分ごとに費用を算出し、各旅行者数に応じて加重平均値を求めている。	旅行会社手数料は発地に属するが一部を道内LO等に回るものとして計上。交通費のうち航空機関連の一部を道内帰属分として計上。宿泊費は計算の便宜上ツアー費内・外に分離されている。
		パッケージ利用者 パッケージ外	ー	ー	ー	○		○	○	○		
		パッケージ非利用者	ー	ー	ー	○	○	○	○	○		

例）道外客の消費額設定の考え方

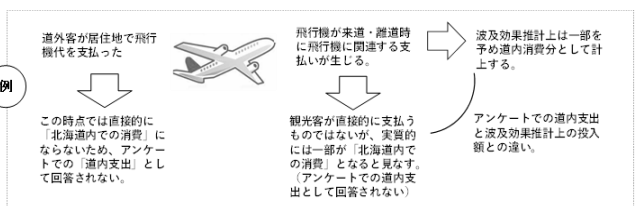
	単純集計上での道内直接消費額	※ツアー客のみ代金の配分額加算	最終投入に用いた消費額 ※その他・手数料等調整
❶交通費	10,789	参考に過年度調査を配分	**14,646**
❷宿泊費	15,057		**21,946**
❸飲食費	14,701		**15,511**
❹買い物費	10,736		**10,746**
❺娯楽等	3,883		**4,418**
❻その他	471		**466**
合　計	55,637		**67,733**

観光客数に乗じて消費総額推計

パッケージツアー代金	47,802	道内分	37,716
		道外留保分	10,086

※修正消費額、最終消費額はツアー代金配分額を含む加重平均額である。小数点以下のまるめにより合計額は一致しない場合がある

例



（２）観光入込客数

1）道内日帰り客

- 年間客数は2,690万人で、昨年度より2.7%増加した。

2）道内宿泊客

- 年間宿泊者数は544万人で、昨年度より7.9%増加している。

3）道外客

- 道外からの来道は96%が宿泊客である。
- 宿泊客は250万人で、昨年度より22%も増加した。
- 日帰り客は、ほぼ前年（10万人）並みの11万人であった。

4）外国人客

- 令和3年度も「ゼロ」となっている。

5）道内「その他」

- 道内からの「その他」は（※道民の道外への観光旅行等に伴う旅行消費）も参考として取り上げているが、昨年度と同程度（90万人）と見込んだ。

■令和3年度の観光入込客数

		（万人）	道内客（合計値は「その他」除く）				道外客			外国人			総計
			日帰り	宿泊	その他	合計	日帰り	宿泊	合計	日帰り	宿泊	合計	
確定値	第１四半期（4～6月）	R1年度	1,116	244		1,360	2	153	155	0	65	65	1,580
		R2年度	766	52		818	1	9	10	0	0	0	828
		R3年度	845	83		928	1	30	31	0	0	0	959
		前年比	110.3%	159.6%	－	113.4%	100.0%	333.3%	310.0%	－	－	－	115.8%
	第２四半期（7～9月）	R1年度	1,523	272		1,795	9	203	212	0	68	68	2,075
		R2年度	1,093	167		1,260	3	90	93	0	0	0	1,353
		R3年度	1,027	139		1,166	3	76	79	0	0	0	1,245
		前年比	94.0%	83.2%	－	92.5%	100.0%	84.4%	84.9%	－	－	－	92.0%
	第３四半期（10～12月）	R1年度	439	232	－	671	6	134	140	0	59	59	870
		R2年度	375	153	－	528	4	69	73	0	0	0	601
		R3年度	392	183		575	5	88	93	0	0	0	668
		前年比	104.5%	119.6%	－	108.9%	125.0%	127.5%	127.4%	－	－	－	111.1%
	第4四半期（1～3月）	R1年度	429	186	－	615	2	83	85	0	53	53	753
		R2年度	385	132	－	517	2	37	39	0	0	0	556
		R3年度	426	139		565	2	56	58	0	0	0	623
		前年比	110.6%	105.3%	－	109.3%	100.0%	151.4%	148.7%	－	－	－	112.1%
	年度合計	R1年度	3,507	934	*268*	4,441	19	573	592	0	244	244	5,277
		R2年度	2,619	504	*90*	3,123	10	205	215	0	0	0	3,338
		R3年度	2,690	544	*90*	3,234	11	250	261	0	0	0	3,495
		前年比	102.7%	107.9%	100.0%	103.6%	110.0%	122.0%	121.4%	－	－	－	104.7%

注）各合計・総計欄の数値は「道内客その他」を含まない。四捨五入のため各項目値と合計が一致しない場合がある

2 道内観光消費額の推計

（１）年間観光客数

■ 前項より、下記を推計の基礎とした。

■道内観光入込客数（実人数）

（人）		前々回調査 令和1年度（実績値）	前回調査 令和2年度（実績値）	今回調査 令和3年度（実績値）	増減	備　考
道内客	日帰り客	36,290,000	26,190,000	**26,900,000**	710,000	1)観光客数は「北海道観光入込客数調査報告書（2019年度／2020年度／2021年度）」（北海道経済部観光局）の観光客数（実人数）を用いている。 2)道内の「その他」は道外や海外への旅行に関わるものであるが、本事業では調査対象となっていない。このため、今回調査では「前回調査と同水準」と設定した。
	宿泊客	9,720,000	5,040,000	**5,440,000**	400,000	
	その他	2,680,000	900,000	**900,000**	0	
	全体	48,690,000	32,130,000	**33,240,000**	1,110,000	
道外客	日帰り客	230,000	100,000	**110,000**	10,000	
	宿泊客	6,240,000	2,050,000	**2,500,000**	450,000	
	全体	6,470,000	2,150,000	**2,610,000**	460,000	
外国人		2,510,000	0	**0**	2,510,000	

（２）総観光消費額の推計

■ 先の観光消費単価と観光入込客数（実人数）を乗じて、下表のように総観光消費額が推計された。

■ 総観光消費額は5,350億円程度となり、前年（4,354億円）から23%程度の増加となった。しかし、コロナ禍前の前々回（1兆5,159億円）から見れば、半分以下の水準であり、「外国人需要の蒸発」など、依然として観光産業への影響は大きい。

■ 観光消費額の構成は道内観光客（日帰り・宿泊客）が全体の59%（計3.151億円）を占め、これに「その他（道外・海外旅行での道内支出分）」の143億円を加えると、道民の観光消費額は計62%＝計3,293億円となる。

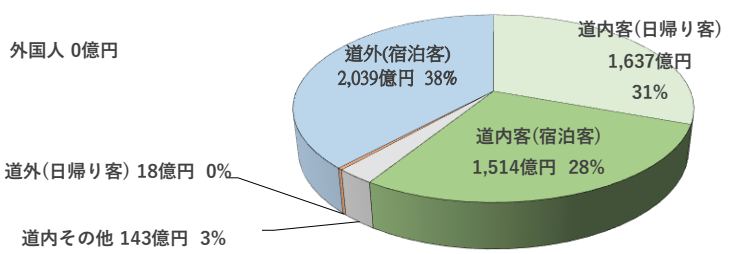
■ 道外客需要は観光消費額の38%（2,057億円）を占めている。道外客はそのほとんどが宿泊客であり、引き続き道外客の需要回復が期待される。

■道内観光総消費額

			道内客 日帰り客	道内客 宿泊客	道内客 その他	道内客 合計	道外客 日帰り客	道外客 宿泊客	道外客 合計	外国人	合計
a	年間観光客数（設定）	**今回**	**2,690万人**	**544万人**	**90万人**	**3,324万人**	**11万人**	**250万人**	**261万人**	**-**	**3,585万人**
		前回	2,545万人	464万人	90万人	3,099万人	※	211万人	211万人	-	3,310万人
		増減	145万人	80万人	0万人	225万人	※	-	50万人	-	275万人
b	道内観光消費額単価（推計用調整値）（1人）	**今回**	**6,085円**	**27,826円**	**15,853円**	**-**	**16,044円**	**81,574円**	**-**	**-**	**-**
		前回	**6,012円**	**26,985円**	**15,853円**	**-**	※	**67,733円**	**-**	**-**	
		増減	**73円**	**841円**	**0円**	**-**	※	**13,841円**	**-**	**-**	
c	道内観光総消費額（a×b）	**今回**	**1,637億円**	**1,514億円**	**143億円**	**3,293億円**	**18億円**	**2,039億円**	**2,057億円**	**-**	**5,350億円**
		前回	1,530億円	1,252億円	143億円	2,925億円	※	1,429億円	1,429億円	-	4,354億円
		増減	107億円	262億円	0億円	368億円	※	-	628億円	-	996億円
構成比（%）		**今回**	**30.6%**	**28.3%**	**2.7%**	**61.6%**	**0.3%**	**38.1%**	**38.4%**	**-**	**100.0%**
		前回	35.1%	28.8%	3.3%	67.2%	※	32.8%	32.8%	-	100.0%

注）四捨五入の関係で各項目と合計値が一致しない場合がある。

■道内観光総消費額の区分別構成



（３）分野別総消費額の整理

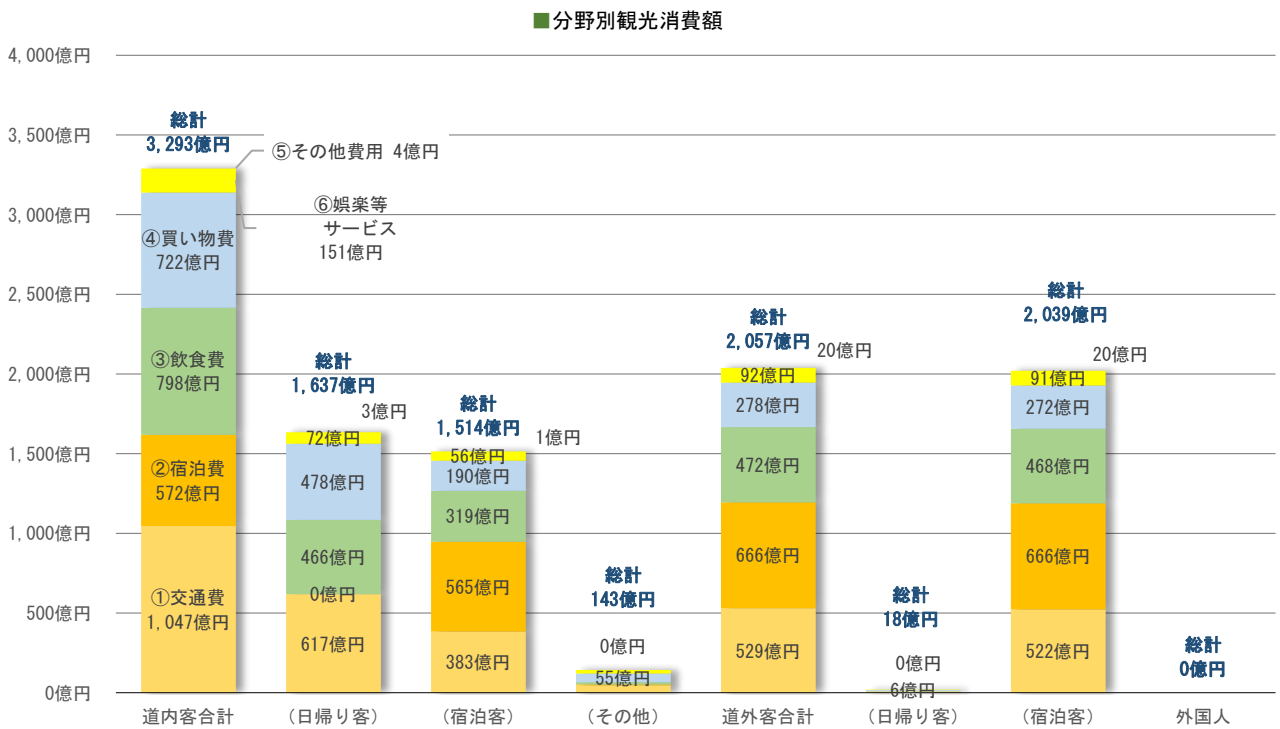
■ 観光客の総観光消費額5,350億円の支出分野別内訳は下表・下図となる。

■分野別観光消費額

			観光入込客数	支出内訳						合計
				①交通費	②宿泊費	③飲食費	④買い物費	⑥娯楽等サービス	⑤その他費用	
道内客	日帰り客	**今回**	**2,690万人**	**617億円**	**0億円**	**466億円**	**478億円**	**72億円**	**3億円**	**1,637億円**
		前回	2,545万人	478億円	0億円	432億円	490億円	112億円	18億円	1,530億円
		増減	145万人	139億円	0億円	34億円	▲ 12億円	▲ 40億円	▲ 15億円	107億円
	宿泊客	**今回**	**544万人**	**383億円**	**565億円**	**319億円**	**190億円**	**56億円**	**1億円**	**1,514億円**
		前回	464万人	285億円	519億円	234億円	153億円	57億円	5億円	1,252億円
		増減	80万人	99億円	46億円	86億円	36億円	▲ 0億円	▲ 4億円	262億円
	その他	**今回**	**90万人**	**46億円**	**7億円**	**13億円**	**55億円**	**22億円**	**0億円**	**143億円**
		前回	90万人	46億円	7億円	13億円	55億円	22億円	0億円	143億円
		増減	0万人	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円
	合計	**今回**	**3,324万人**	**1,047億円**	**572億円**	**798億円**	**722億円**	**151億円**	**4億円**	**3,293億円**
		前回	3,099万人	809億円	526億円	679億円	697億円	191億円	23億円	2,925億円
		増減	225万人	238億円	46億円	120億円	25億円	▲ 40億円	▲ 19億円	368億円
道外客	日帰り客	**今回**	**11万人**	**7億円**	**0億円**	**4億円**	**6億円**	**0億円**	**0億円**	**18億円**
		前回	※	※	※	※	※	※	※	※
		増減	-	-	-	-	-	-	-	-
	宿泊客	**今回**	**250万人**	**522億円**	**666億円**	**468億円**	**272億円**	**91億円**	**20億円**	**2,039億円**
		前回	211万人	309億円	463億円	327億円	227億円	93億円	10億円	1,429億円
		増減	39万人	213億円	203億円	141億円	45億円	▲ 2億円	10億円	610億円
	合計	**今回**	**261万人**	**529億円**	**666億円**	**472億円**	**278億円**	**92億円**	**20億円**	**2,057億円**
		前回	211万人	309億円	463億円	327億円	227億円	93億円	10億円	1,429億円
		増減	50万人	220億円	203億円	145億円	52億円	▲ 2億円	10億円	628億円
外国人		**今回**	**0万人**	**-**	**-**	**-**	**-**	**-**	**-**	**-**
		前回	0万人	-	-	-	-	-	-	-
		増減	0万人	-	-	-	-	-	-	-
合計		**今回**	**3,585万人**	**1,576億円**	**1,238億円**	**1,270億円**	**1,000億円**	**242億円**	**23億円**	**5,350億円**
		前回	3,310万人	1,118億円	989億円	1,006億円	924億円	284億円	32億円	4,354億円
		増減	275万人	458億円	249億円	264億円	76億円	▲ 42億円	▲ 9億円	996億円

注）四捨五入の関係で各項目と合計値が一致しない場合がある。

■分野別観光消費額



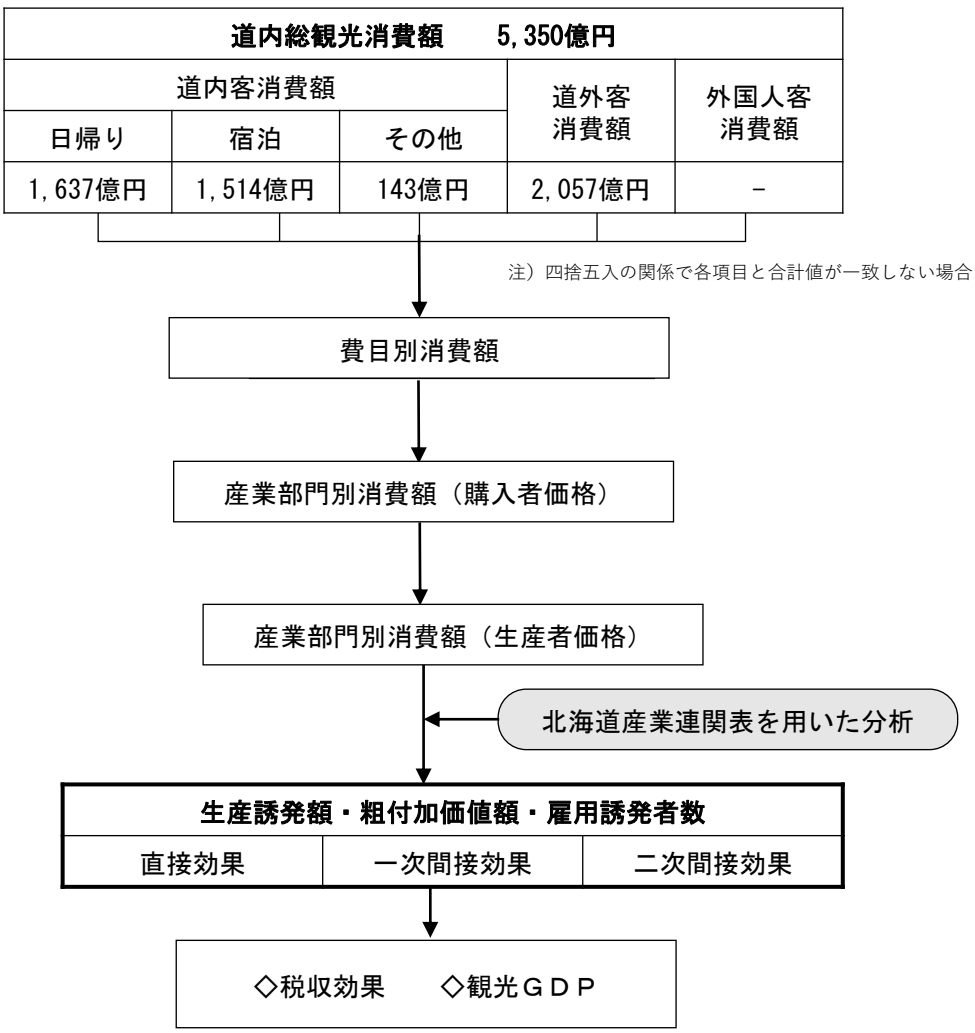
3 観光がもたらす経済波及効果の分析

（１）経済波及効果の推計方法

①推計の考え方

- 経済波及効果とは、ある産業部門（本調査では観光関連産業部門）に消費や投資（最終需要）が発生した時に、直接、間接的に多様な産業に次々と生産を誘発するとの考えに基づくものである。
- これまでの観光消費額、観光入込客数、観光総消費額を基に、下記のフローによって観光経済波及効果を推計した。
- 経済波及効果は①直接効果、②一次間接効果、③二次間接効果の３つからなり、これらが生み出す税収効果、雇用誘発者数などについても推計した。

■経済波及効果推計のフロー



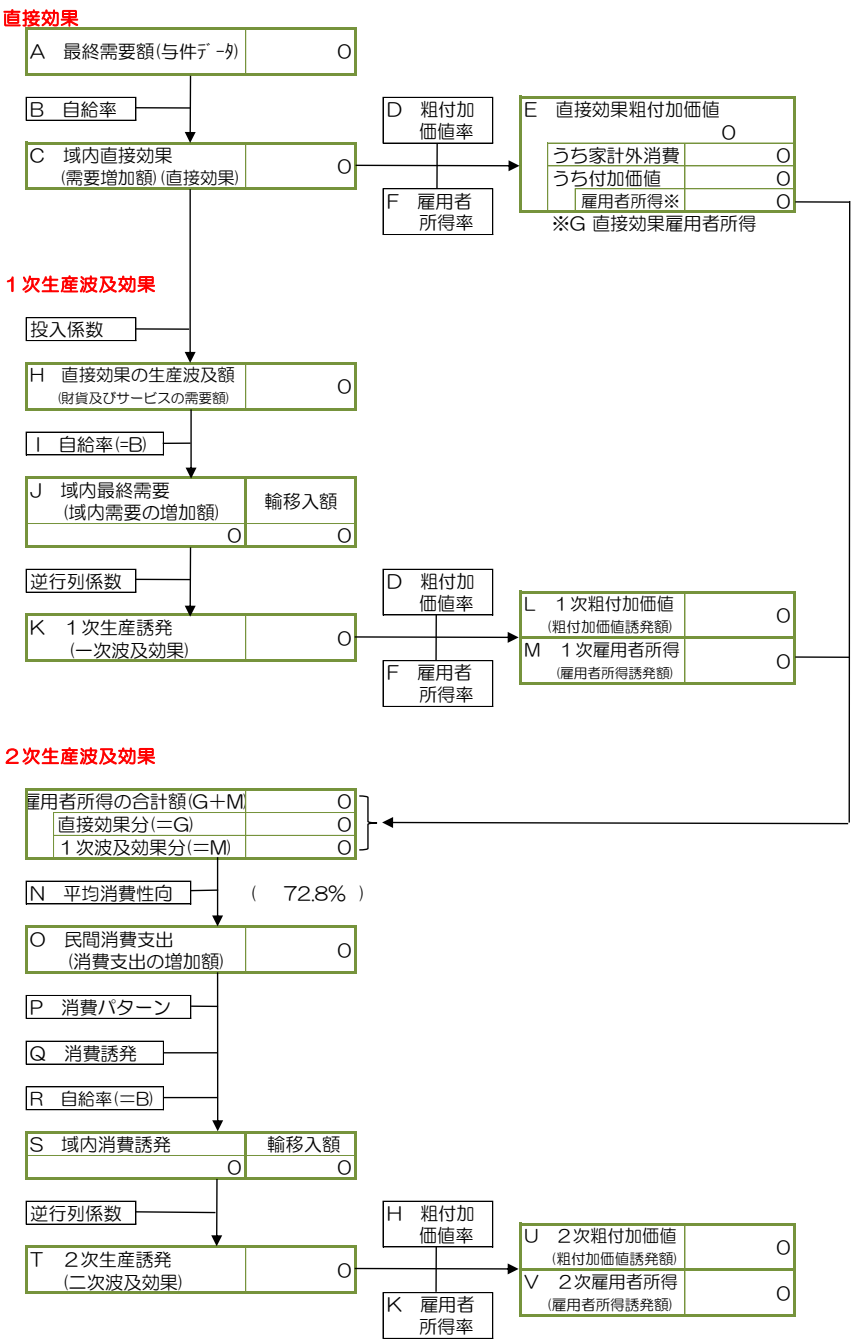
②推計モデル

- 当該推計においては『経済波及効果分析支援ツール』（平成24年度 北海道総合政策部計画推進局）を基に、一部を改修した独自のモデルを使用した。
- また、産業連関表は**『平成27年度北海道産業連関表』**（北海道開発局）**64部門表**を用いている。
- 『経済波及効果分析支援ツール』における経済波及効果推計の出力形式、フローは下図のようなものである。

注）令和2年度調査では「平成23年度北海道産業連関表／13部門表」を使用しているため、推計モデルの年次変更・産業部門数の変更などによる影響があり、過年度との推移については留意を要する。

■『経済波及効果分析支援ツール』における経済波及効果推計のフロー

（単位：百万円）



（２）経済波及効果の推計結果

①結果の要約

- 今年度各調査によって得られた観光総消費額 5,350億円がもたらす経済波及効果の推計結果は下表のように整理される。
- 経済波及効果（生産誘発額）は 6,926億円と推計された。（観光消費総額に対する乗数効果は1.30）
- 観光消費により生じる生産活動において発生する「直接効果」は3,887億円、さらに道内の生産やサービス活動に波及する「第一次波及（間接）効果」は1,915億円となる。
- さらに、新たな雇用者所得等の増加によって生み出される「第二次波及(間接）効果」が1,124億円と推計された。

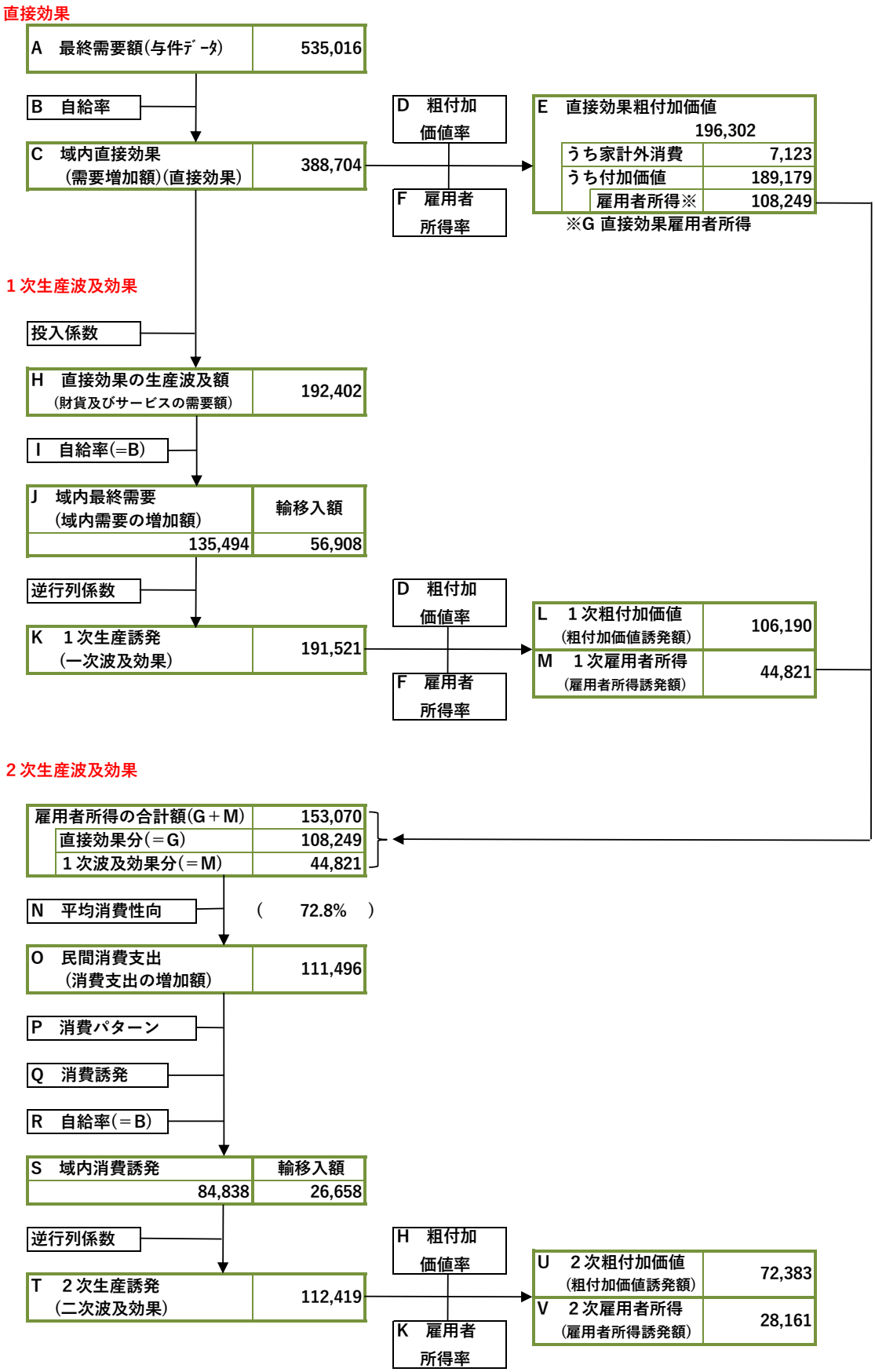
■観光による経済波及効果の要約

	今回	前回
経済波及効果	692,643百万円発生	636,412百万円発生
観光ＧＤＰ	196,302百万円押し上げ	227,613百万円押し上げ
雇用者（新規雇用者誘発数）	59,782人／年	61,850人／年
税収 効果	13,647百万円	16,137百万円

		直接効果	１次波及効果	２次波及効果	合計
生産誘発額（百万円）	今回	388,703	191,521	112,419	692,643
	前回	365,758	135,102	135,552	636,412
	増減	22,945	56,419	▲23,133	56,231
粗付加価値（百万円）	今回	196,302	106,189	72,383	374,874
	前回	227,613	75,410	83,737	386,760
	増減	▲31,311	30,779	▲11,354	▲11,886
所得誘発額（百万円）	今回	108,249	44,822	28,161	181,232
	前回	145,451	37,959	37,129	220,539
	増減	▲37,202	6,863	▲8,968	▲39,307
雇用誘発数（人）	今回	39,333	12,703	7,746	59,782
	前回	41,292	10,301	10,257	61,850
	増減	▲1,959	2,402	▲2,511	▲2,068
税収効果（百万円）	今回	8,012	3,472	2,162	13,647
	前回	10,474	2,863	2,800	16,137
	増減	▲2,462	609	▲638	▲2,491

注）四捨五入の関係で各項目と合計値が一致しない場合がある。

■観光による経済波及効果のフロー



(注)端数処理の関係で、各項目の合計値と合計項目の値が一致しない場合がある。
同様に、他の表の値と一致しない場合がある。

②生産誘発額

■ 経済波及効果（生産誘発額）は 6,926億円と推計され、その内訳は①道民/道内客（4,196億円）、②道外客（2,730億円）の発生で構成される。

■観光消費による生産誘発額のフロー

総観光消費額	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
5,350億円	3,293億円	2,057億円	-

↓

直接効果

観光消費による直接効果	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
3,887億円	2,353億円	1,534億円	-

↓

第一次間接効果

観光消費による第一次間接効果	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
1,915億円	1,156億円	760億円	-

↓

第二次間接効果

観光消費による第二次間接効果	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
1,124億円	688億円	436億円	-

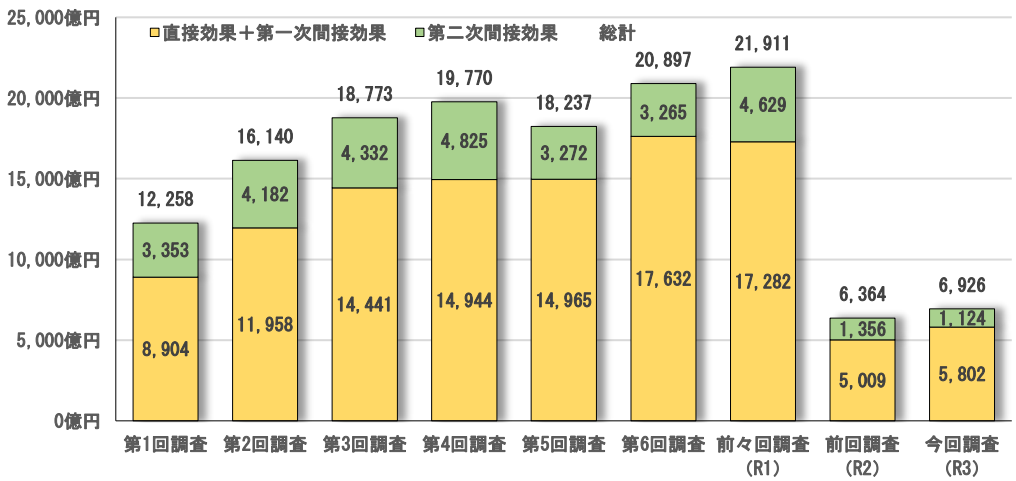
↓

生産誘発額　合計

観光消費による生産誘発額	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
6,926億円	4,196億円	2,730億円	-

注）道内客分は観光（日帰り・宿泊）と「その他の旅行」を合計した値で表記している。
四捨五入の関係で各項目と合計値が一致しない場合がある。

■観光消費による生産誘発額の推移（参考）



③粗付加価値誘発額

■ 前項の生産誘発額（6,926億円）がもたらす粗付加価値誘発額は3,749億円と推計され、その内訳は道民/道内客（2,269億円）、道外客（1,480億円）で構成される。

■観光消費による粗付加価値額のフロー

総観光消費額	内訳		
	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
5,350億円	3,293億円	2,057億円	-

直接効果

生産誘発額	直接効果による粗付加価値誘発額		
3,887億円	1,963億円		
	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
	1,191億円	772億円	-

第一次間接効果

生産誘発額	第一次間接効果による粗付加価値誘発額		
1,915億円	1,062億円		
	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
	635億円	427億円	-

第二次間接効果

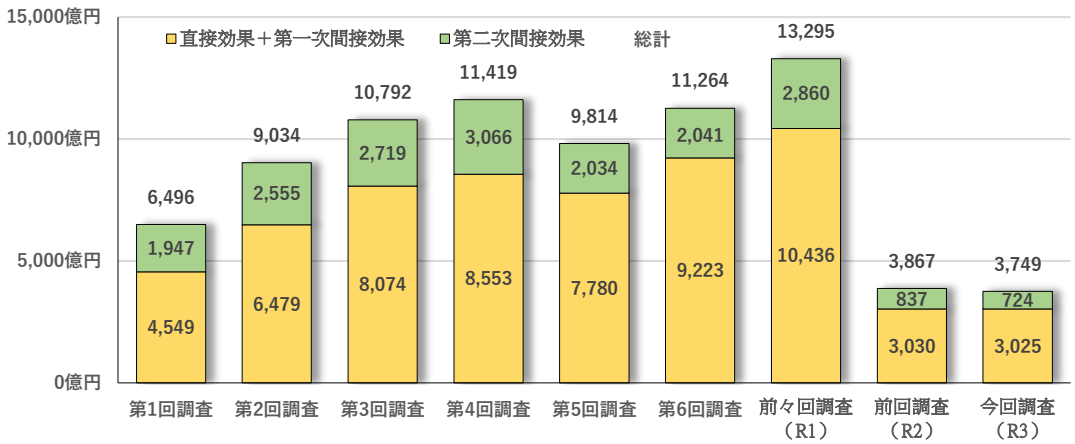
生産誘発額	第二次間接効果による粗付加価値誘発額		
1,124億円	724億円		
	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
	443億円	281億円	-

生産誘発額　合計

生産誘発額	粗付加価値誘発額　合計		
6,926億円	3,749億円		
	道内客（日帰り・宿泊・他計）	道外客	外国人客
	2,269億円	1,480億円	-

注）道内客分は観光（日帰り・宿泊）と「その他の旅行」を合計した値で表記している。
四捨五入の関係で各項目と合計値が一致しない場合がある。

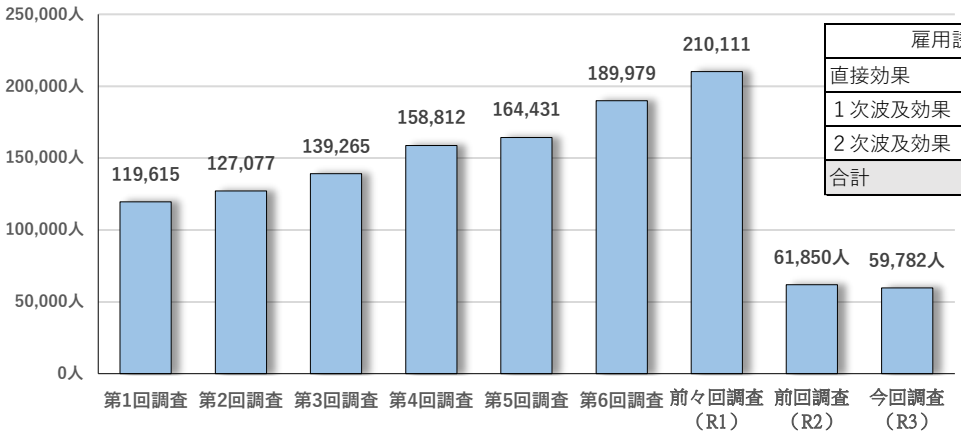
■観光消費による粗付加価値誘発額の推移（参考）



④雇用誘発効果

■ 6,926億円の生産誘発額は 59,782人/年の新規雇用者を誘発すると推計されたが、ほぼ前回調査並みであり、コロナ禍が長引く中で、観光産業の雇用需要の回復は未だ先と考えられる。

■観光消費による雇用誘発数の推移



雇用誘発数	
直接効果	39,333人
1次波及効果	12,703人
2次波及効果	7,746人
合計	59,782人

⑤税収効果

■ 同じく6,926億円の生産誘発額は、道・市民税（個人・法人）合わせて137億円の税収効果を生み出すものと推計されるが、これは令和元年度調査時（606億円）の1/4 程度に留まっている。

■観光消費がもたらす税収効果

（単位：百万円）

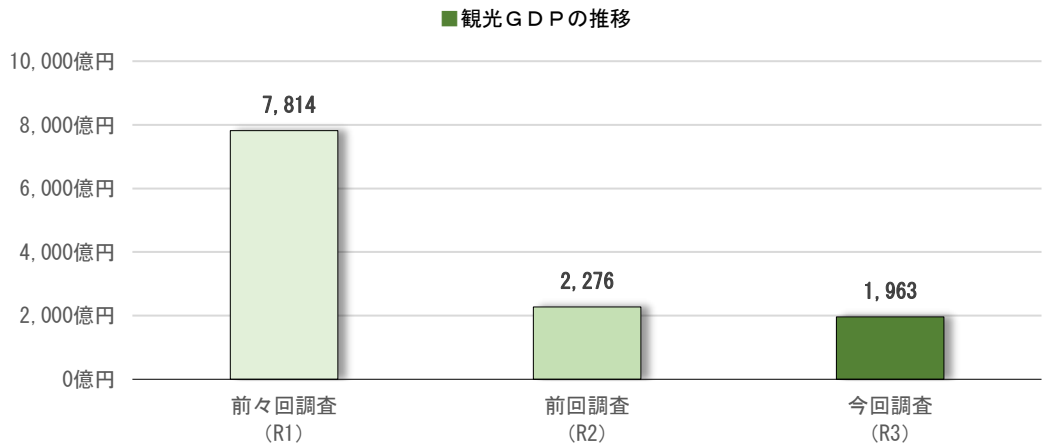
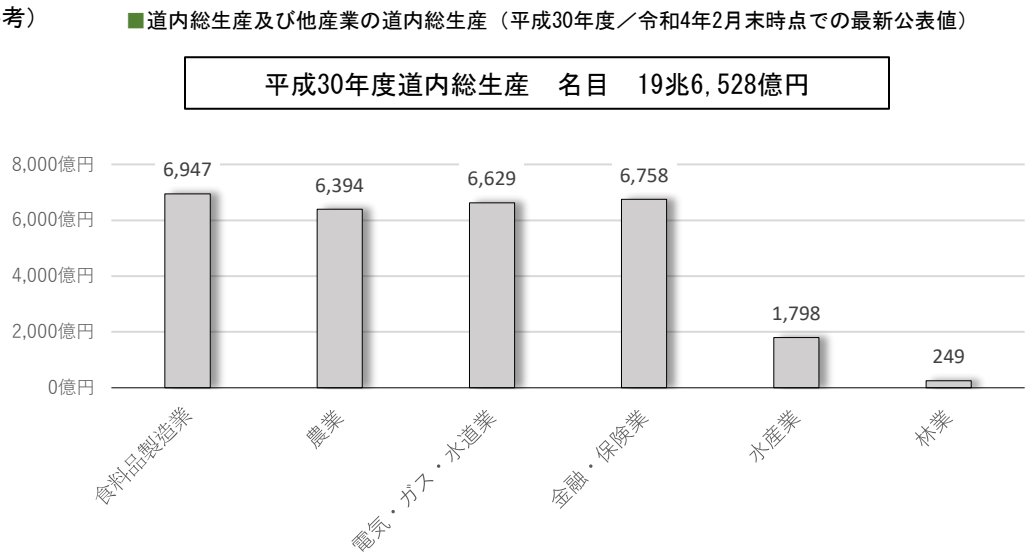
		税収係数	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	計
道税	個人	4.0%	2,748	1,164	733	4,644
	法人	1.0%	457	225	132	815
	計		3,205	1,389	865	5,459
市町村民税	個人	6.0%	4,122	1,745	1,099	6,966
	法人	1.5%	686	338	198	1,222
	計		4,807	2,083	1,297	8,188
合計	個人		6,869	2,909	1,832	11,610
	法人		1,143	563	331	2,036
	計		8,012	3,472	2,162	13,647

個人の道民総合課税率は所得割総合課税の道民税４％、市町村民税６％を採用している。
法人の道税は資本金が１億円以下の法人で法人税額が1,000万円以下の令和元年（2019年）10月1日以後に開始する事業年度の税率1.0%を用いている。
法人の市町村民税は年間800万円以下の法人税率15%に平成26年度10月1日以降の開始事業年度の税率9.7%を乗じて約1.5%としている。

⑥観光ＧＤＰの推計

- 6,926億円の生産誘発額のうち、直接効果（3,887億円）は1,963億円（直接効果による粗付加価値額）の観光GDPを生み出す。
- これは、平成30年度の道内総生産（名目GDP=約19.7兆円）の1.00%に相当する。コロナ禍前の令和元年度調査では道内総生産（平成29年度：名目GDP＝約19.4兆円）の4%程度であったことからみると、コロナ禍における観光産業のダメージが依然として大きいことが分かる。
- 平成30年度の他の主要産業GDPと今回調査（令和3年度）の観光GDPと比べると、食料品製造業（6,947億円）や農業（6,394億円）、金融・保険業（6,758億円）、電気・ガス・水道業（6,629億円）などを大きく下回ることとなった。

※「観光ＧＤＰ」（Tourism Gross Domestic Product）は北海道庁が第6回調査で定義した『観光客が購入した財・サービスの付加価値額であることから、直接効果による粗付加価値誘発額として求めた』に準拠している。
※他産業のGDPは道民経済計算に基づくが、これらの数値は３年後に公表（現時点の最新数値は平成30年度計算）される予定である。このため、本調査における「観光GDP」との間にはタイムラグがあることに留意下さい。



（参考）